

平成23年教育委員会第10回定例会会議録

開会日時 平成23年10月12日 午前10時00分

閉会日時 同 上 午前10時35分

場 所 教育委員会室

出席委員 委員長 佐藤 昭
同職務代理 面田 博子
委員 松本 實
委員 遠藤 勝男
委員 秋本 則子
教育長 山崎 喜久雄

議場出席委員

・教育次長	内山 利之	・教育振興担当部長	坂田 祐次
・庶務課長	駒井 正美	・教育計画推進担当課長	小曾根 豊
・施設課長	齋藤 登	・学務課長	土肥 直人
・指導室長	平沢 安正	・統括指導主事	江田 真朗
・地域教育課長	今關総一郎	・生涯学習課長	宮地 智弘
・生涯スポーツ課長	柴田 賢司	・副 参 事	濱田 茂男
・中央図書館長	梅田 義郎		

書 記

・企画係長 菊池 嘉昭

開会宣言 委員長 佐藤 昭 午前10時00分 開会を宣する。

署名委員 委員 佐藤 昭 委員 面田 博子 委員 山崎 喜久雄
以上の委員3名を指定する。

議事日程 別紙のとおり

○委員長 おはようございます。

○全員 おはようございます。

○委員長 ただいまから、平成23年教育委員会第10回定例会を開会いたします。

初めに、きょうの会議録の署名は、私を含めて、面田委員と山崎教育長にお願いいたします。

それでは、議案等に入ります。

議案等は本日ございません。

報告事項等に入ります。

報告事項等1『教育委員会の権限に属する事務の管理・執行状況の点検及び評価』報告書に関する議会意見について、ご報告をお願いいたします。

庶務課長。

○庶務課長 それでは、報告事項等1『教育委員会の権限に属する事務の管理・執行状況の点検及び評価』報告書に関する議会意見について、ご報告申し上げます。

本件につきましては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条の規定に基づき、平成22年度の報告書を議会に提出した際、所管の文教委員会において以下の意見、質問がありましたので、本委員会に報告するというものでございます。

意見は二人の委員から3件ございました。

まず、(1)でございます。「今回の区議会定例会において、『区民と区長との意見交換会』について一般質問をした。その際、数年後に成人の仲間入りをする区内の中学生達に、葛飾区の未来について考えてもらう機会をつくることを提案した。このような意見交換をする場を子どもたち自身が見聞きし、その機会を与えることも、子どもたちの『言語活動の充実』につながると考える。将来を担う児童・生徒が、さまざまな場面で直接、自分の考えや意見を言える場の確保にぜひ努めてほしい」という意見がございました。

これに対しまして指導室長が答弁をしております。「さまざまな機会に児童・生徒自身が自分の意見や考えを述べることは、子どもの言語能力の充実にとってきわめて重要である。今後、子ども区議会も開催される予定だが、広報課とも連携を図りながら進めていきたい。また、場の確保に関しては、子ども区議会に限らず、学校内外でできる限り機会をとらえて子どもの言語能力の充実に努めていきたい」というように回答してございます。

(2)でございます。「目白大学の塩澤先生が意見を述べているが、教育委員会の取り組みを高く評価する内容となっている。これは塩澤先生の率直な意見であり、このことについて口を挟む立場にはないが、塩澤先生の意見をどう受け止めているかを伺いたい。」

これに対しましても指導室長が答弁をしております。「塩澤先生は区の元指導室長であり、そのとき私は指導主事をしていました。塩澤先生のご意見は『区の教育のためにもっと頑張れ』と

の激励と受けとめている。『課題は明確であるのだから、しっかり取り組んでほしい』との意味合いもあるというふうに認識している」というように答えてございます。

続きまして、(3)でございます。『確かな学力の定着』では、小学校6年生の算数、中学校3年生の数学と英語で、目標値に達していないとある。算数においては、分数でつまずく子どももいると聞く。算数・数学は積み重ねが大切な科目であり、わからないまま先に進むことはできない。ぜひ目標値に届くように努力してほしい。」

これについても指導室長が答弁をしております。「算数・数学は積み上げの科目であり、どこかでつまずくと先に進めなくなる。このため、小学校低学年からしっかりと理解の上で基礎学力の定着を図っていく。特に成績の下位層の児童・生徒は補習及び繰り返しの学習を進めながら学力の底上げを図っていきたい」というように答弁をしております。

説明は以上でございます。

○委員長 ありがとうございます。

ただいま庶務課長から説明がありましたけれども、ご意見、質問等ございませんか。

松本委員。

○松本委員 (1)の「子どもたちが意見を発表する場」でありますけれども、地区青少年委員会で何地区かやっていると思うのですが、私は、地区委員の大人の人と子どもたちが向かい合って意見を出し合うという良い活動をしているのを見たことがありますので、これらはいいなと思っています。

(3)ですけれども、前に、算数と数学の連続性を見るために「つまずきテスト」というのをやったことがあるのですが、やはり分数のところではつまずいていて、中学校へ来て、授業がそこでつまずいているのでほとんどわからないという子どもがいるということがわかりました。特に算数などは、適時性というのですか。何歳とか何年生のときに身につけておかないと、大きくなっていくら努力してもなかなか進んでいかないというのがありますから、そういうこともこれからの振興ビジョン推進の上で考えていければいいのかなという感想を持ちました。

以上です。

○委員長 ほかにございませんか。

(発言する者なし)

○委員長 なければ、1は了承といたします。

続いて、報告事項等2「砂場の砂の入替えについて」をお願いいたします。

施設課長。

○施設課長 それでは、報告事項等2「砂場の砂の入替えについて」、ご報告させていただきます。

教育委員会では、区内の全公立幼稚園及び小・中学校におきまして、8月3日から8月17日

にかけて砂場の空間放射線量を測定いたしました。1回目の測定結果が毎時0.25マイクロシーベルト以上の砂場につきましては再測定を実施し、その結果が毎時0.25マイクロシーベルト以上であった13校について、9月26日から10月4日にかけて砂の入替えを実施いたしました。砂入替え後の空間放射線量は、下の表のとおり、13校とも大幅に低減いたしました。なお、1回目の測定結果が毎時0.25マイクロシーベルト未満の砂場につきましても、さらに安心して砂場が使えるように、新たな砂を上から被せることを予定してございます。

説明は以上でございます。

○委員長 ありがとうございます。

ただいまの施設課長の説明、何かご意見等ございますか。よろしいですか。

(発言する者なし)

○委員長 なければ、2は了承といたします。

続いて、報告事項等3「平成23年度上半期の教員の研修報告について」をお願いいたします。

指導室長。

○指導室長 報告事項等3「平成23年度上半期の教員の研修報告について、ご報告をいたします。資料をご覧くださいと思います。

実技研修でございますけれども、28回実施、517人の受講ということでございます。昨年とほぼ同じ人数となっています。

次の教育課題研修でございますけれども、小学校外国語活動スタート研修と中学校道徳教育研修会が昨年度終了ということで、ことしは小学校英語活動研修を実施いたしました。今回は中学校にもお声がけをいたしまして、54人の参加となっています。

めくっていただきまして、教育相談研修でございます。360人の受講ということでございます。こちらもほぼ昨年並みでございます。ことしは夏の教育相談研修がA・Bコースとも特に盛況だったというふうに担当のほうから報告を受けています。

次はコンピュータ実技研修でございますが、10講座開講いたしました。こちらは、昨年に比べまして若干数が減ってございます。全体として講座の回数などを減らしたというところが、受講者数の減少につながってしまったかなというふうに反省しているところでございます。

なお、電子黒板の活用研修につきましては、1回に受講できる人数を逆に絞り込みまして、できるだけ長い時間、お一人お一人にさわっていただくというような工夫を取り込み、内容的にも昨年度から少し改善を進めたところでございます。

報告は以上でございます。

○委員長 ありがとうございます。

ただいまの指導室長からご報告がありましたが、何か…

面田委員。

○面田委員 報告ありがとうございました。

この実技研修は、去年と同じくらいの参加はちゃんとあったということで、ああ、そうかなと思ったのですけれども、これは全部希望で受けているのか、あるいは採用して3年以内だったら必ず二つは行けよとか、そういうものがあったのかどうか。もしわかったら、それを一つ伺いたいということ。

二つ目は、ちょっと残念だなと思ったのは、小学校の英語活動をこれだけスタートしてきたのに、もっと多いのかなと思ったものですから、そのあたり、もし課題があるとすればどういう課題だったのかということ。それは、先ほどのITのほうもそうなのですね。1人に1台ずつパソコンが設置されて、この夏休みに研修をして、使いこなせるようにしてもらいたいなという思いがあるので、そこがちょっと減っていると聞いたので、どういう課題、問題点があったのかがわかればお伺いしたいと思います。教えてください。

○委員長 指導室長。

○指導室長 まず実技研修でございますけれども、基本的には希望者の参加ということでございます。ただ、校長先生によっては、「この研修に行ってください」というようなご指導をいただいて来たという初任者もいるというふうに聞いております。学校で、これはこの教員は受けたほうがいいから出たほうがいいよというような、出せるような体制をつくったりとかというところが大きいのかなというふうに思っております。

英語研修活動につきましては、これは日にちの設定をもう少し工夫する必要があるかなというふうに反省してございます。小学校は、この時期、岩井ですとか、さまざまな……「忙しくて」という声をいただいています。ニーズはあるのですけれども、やはり出にくい時間設定であったかなというふうに反省をしてございます。学校と葛小研、葛中研あたりともう少しスケジュール調整などをさせていただいて、やはり出やすい工夫をしなければいけないというふうに思っています。

コンピュータ実技研修でございますけれども、やはり受けた内容と日程というふうなところで合わなかったという声はいただいています。ただ、1人1台になったことで、やらなければいけないという意識にはなってきているというふうに思っていますので、これから実際に教育コンテンツ等がこのシステムの中に入っていけば、さらにニーズが上がってくる。それに合わせて進めていかなければいけないのだろうなというふうに思っています。

電子黒板の研修についても、こういう研修をやっている、実際に授業画面でこう活用しているのだということをごちらがもっとアナウンスをして使っていないと、各学校1台だからということをご理由に先生方がさわらないというようなお声がありますので、やはりフル回転していただく意味では、実際に長い時間さわっていただくということが大事だと思いますので、来年度に向けてその辺少し工夫をしていかなければいけないと反省しています。

○委員長 面田委員。

○面田委員 よくわかりました。特に若い先生は、この時期、鍛えて、いい先生にしたいなという思いがありますので、一番初めにおっしゃったような、校長先生方が、「あなた、これに行けるように頑張りましょう」とか、こういうこともあったということで、ぜひそういうのが広がればうれしいなと思います。ありがとうございました。よくわかりました。

○委員長 遠藤委員。

○遠藤委員 参加された先生方は昨年同様ということではありますが、私のほうからは、一つは意見、一つは質問を申し上げたいと思います。

一つは、2ページ目にあります教育相談の夏季Aコースの講義に、「発達障害」ということが取り上げられておりますが、これは大変適切な内容だと私は思います。どうしてかと申しますと、障害者に関する法律が変わりまして、これからは発達障害も障害としてそこに組み込まれていくことになっておりますので、大変適切だと思います。と申しますのは、この発達障害というのは、現場の先生方は、これが発達障害かどうかというのがわからないために、ついつい子どもに対する対応の仕方がちょっと違ってくる場合が多々あったのではないかと思います。それが保護者とのあつれきになっている場合も多々見受けられたのではないかと思います。これは適切なことだと思います。

それから、各研修会、特に教育相談における初級・中級・専門というふうにありますますが、私も20年ぐらい前に教育相談の資格を取るために研修会に出たことがありまして、そして、その研修修了とともに修了証をもらい、また、異動等においては、自分が教育相談の何級を持っているのかということを書き込めるようになっていたのですが、現状はどうなのでしょう。

○委員長 指導室長。

○指導室長 現在、どこまで自分が研修を進めたかということは、都も実施していますけれども、区も同じレベルで進めていますので、異動カードなどにはそれを記入できるようなシステムにはなっております。

○委員長 よろしいですか。

○遠藤委員 はい。

○委員長 ほかにございませんか。

(発言する者なし)

○委員長 なければ、報告事項等3は了承といたします。

続いて、報告事項等4「平成23年度小学校水泳記録会実施結果について」をお願いいたします。

指導室長。

○指導室長 報告事項等4「平成23年度小学校水泳記録会実施結果について」、ご報告いたしま

す。資料をごらんください。

9月2日に、第59回になりますけれども、区立小学校水泳記録会が15会場で実施されました。実施予定日は9月1日だったのですが、台風接近の雨天ということで早い段階で順延という形にさせていただきまして、2日に実施ということでした。対象は6年生、1人2種目まで出場可能という大会は例年どおりでございます。今年度の区内の1位から3位までの記録は資料にあるとおりでございます。同タイムで同順位ということも昨年と同じような表記になっています。昨年からスタートを変えましたので、これで2回目の記録ということになるわけですが、ことしは25メートル自由形男子、50メートル自由形男女、25メートル平泳ぎ男女が昨年の記録を上回っていますので、これが現時点での区内新記録という形になっております。参加した児童、また保護者の方の参加もあったということを聞いていますけれども、自己ベストを目標にかなり頑張った、盛り上がった大会が各会場で実施されたというふうに聞いております。

報告は以上でございます。

○委員長 ありがとうございます。

ただいまのご報告に何か質問等ございますか。よろしいですか。

(発言する者なし)

○委員長 それでは、4は了承といたします。

続きまして、報告事項等5「平成23年度中学校連合陸上競技大会実施結果について」をお願いいたします。

指導室長。

○指導室長 報告事項等5「平成23年度中学校連合陸上競技大会実施結果について」、ご報告をいたします。資料をごらんください。

今年度は、10月4日に総合スポーツセンターで中学校の連合陸上を実施いたしました。全校740名の生徒が参加ということでございます。実施結果については資料にお示しをいたしました。こちらは大変いい天気で、大きな事故もなく、大変盛り上がったというふうに聞いております。また、各種目で接戦が多くて、団体の得点でも同点となる状況だったと聞いています。同点の場合は、上位の入賞数が多いほうが上位というふうなルールで順位を決めております。また、下にお示ししましたがけれども、大会新記録も多く出されております。2年男子400メートルリレーは中学校の最高記録ということでございます。報告の手持ちにはないのですが、こういう記録がたくさん出ます。次の東京駅伝でも頑張ってもらいたいというふうに個人的には思っております。

報告は以上でございます。

○委員長 ありがとうございます。

ただいまの……

松本委員。

○松本委員 私は開会式であいさつをして、ほとんど全競技を見てきたので感想を述べたいと思います。

まず1番は、参加している子どもたちの生活指導上の態度が随分よくなったなと思いました。安心はできないと思うのですが、代表で来ている子どもたちがこのレベルなので、各学校ともまあいい状況かなと思いました。

二つ目は、この大会の日の前後は強風が吹いたり、雨が降ったりしたのですが、天気コンディションが大変よくて大会新記録が続出しました。競技場が全天候になって、電気計測できて、よくなったということもあると思いますし、子どもたちの頑張りもあったと思います。強いて言えば、気になるところは、強い学校と熱心な学校とそうではない学校の格差もあるというのと、ここにきている子どもたちは活躍しているけれども、それに続く子どもたちがまだ学校にいてもっと頑張ってもらいたいというのが課題だと思います。ご苦労さまでした。

○委員長 指導室長。

○指導室長 松本委員ご指摘のように、この間の体育の日の報道にもあったように、体力面、運動に対してでも二極化が進んでいるということになっています。この大会に出ない子どもたちの底上げという点では、これからも進めていかなければいけないと思っていますし、小学校段階で運動好きにするということも大切だと思っています。今度、15日には、小学校の小体連のほうで陸上の記録会が開催されます。39校688名の6年生が参加するということでございますので、この辺と連携をさせていただきながら、より二極化しないような形での指導を進めていきたいと考えております。

○委員長 ほかにございませんね。

(発言する者なし)

○委員長 それでは、報告事項等5は了承といたします。

続きまして、報告事項等6「平成23年度あいさつ運動啓発標語審査結果について」をお願いいたします。

指導室長。

○指導室長 報告事項等6「平成23年度あいさつ運動啓発標語審査結果について」、ご報告いたします。

平成17年度からあいさつ運動啓発標語コンクールを実施していますが、今年で7回目ということになりました。6月の校長会、7月25日の「広報かつしか」及び区のホームページ等で募集をさせていただきました。小学校低学年・高学年、中学生の3部門、合わせて1万7,195点の応募がございました。資料の下のほうにございますけれども、昨年に比べ、全部門の応募数が伸びています。特に中学校の応募数が非常に大きく伸びたところがことしの特徴か

なというふうに思っています。9月13日に最終の審査会を開催いたしまして、応募作品の中から部門ごとに最優秀賞を1点、優秀賞を2点、選定いたしました。そして、各部門の最優秀作品からさらに1点を選定し、のぼり旗と幕を作成して、区立幼稚園、小・中学校に掲示する予定です。今年度は小学校高学年の部の最優秀賞「始めよう 朝のあいさつ あなたから」を選定いたしました。表彰式は14日にとり行う予定でございます。また、入選作品につきましては、27日から11月9日まで区民ホールにて掲示いたします。また、「広報かつしか」11月5日号で掲載したいというふうに考えております。

報告は以上でございます。

○委員長 ありがとうございます。

ただいまの報告に対して何かご質問、ご意見等ございませんか。

面田委員。

○面田委員 今、指導室長から話がありましたけれども、中学校の応募数が非常に増えたということで、これはきっと指導室のほうの努力がこういう形であられたのだと思います。本当にありがとうございました。

私が思うのは、今、言語活動をいろいろな場面で充実させるということが大事なことのだけれども、こういうチャンス子どもたちに与えるということが非常に大事なことだと思うのです。考えることもするでしょうし、あるいは家族とも話したりするでしょうし、友達とも話したり、担任と話したり。そういうことでまた違う形の言語活動もふえていくし、人とのつながりもできていく。ここでいい標語ができることはもちろん大事なだけれども、それ以前の、各学校、各子どもが取り組むそのことが私は非常に大事なことでとらえているので、このように参加がふえたことに関してとてもうれしくてお礼を申し上げたいと思います。ありがとうございました。

○委員長 ほかにはございませんか。

(発言する者なし)

○委員長 なければ、報告事項等6は了承といたします。

これで報告事項等は全部終了しました。

何か教育委員のほうからございませんか。

(発言する者なし)

○委員長 事務局のほうは何かありませんか。

学務課長。

○学務課長 このたび、危機管理対策本部の決定に基づきまして、小・中学校及び保田しおさい学校の給食で提供されております牛乳の放射性物質検査を実施することになりましたので、ご報告をさせていただきます。

まず、検査の内容でございますけれども、検査につきましては、牛乳メーカー、工場を単位に1検体実施することといたしまして、実際に学校に配送された牛乳を使用して実施いたします。本区の場合で言いますと、小・中学校が同一メーカー同一工場からですので、これを1検体、それと保田しおさい学校がまた別でございますので、これを1検体採取いたしまして、既にそのサンプルのほうは昨日専門機関のほうへ持ち込んでございまして、検査結果は今月下旬ごろになる見込みでございます。結果がわかり次第情報提供させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

なお、区立保育園、私立保育園、私立幼稚園の検査についても、現在準備中でございますので、今月中には検査を行う予定となっておりますので、合わせて申し添えたいと思っております。

以上でございます。

○委員長 何かございますか。

面田委員。

○面田委員 牛乳の検査は、保護者のほうからそういう声が強かったのですか。

○委員長 学務課長。

○学務課長 お話しのとおり、給食全般、食材に対する不安、心配をするというのがございまして、こうした保護者の要望を踏まえまして、特に毎日提供されている牛乳については今回実施しようということになったわけでございます。

○面田委員 なるほど。わかりました。

○委員長 秋本委員。

○秋本委員 ちょっと質問なのですけれども。

牛乳に関しては、「飲ませたくない」というような保護者、親がいるというふうに聞いたことがあるのですが、それに伴い、お弁当を持ってきて、給食のほうも「食べたくない」というような子どもがいるというのも聞いたことがあるのですけれども、そういう現状はあるのでしょうか。

○委員長 学務課長。

○学務課長 実は8月30日に調査をいたしまして、牛乳を飲まないお子さん——これはすべて小学生なのですが、133人ということになります。それと、弁当持参ということで対応されている方が18人ということで聞いてございます。中学校は0でございます。

○委員長 いいですか。ほかにないですか。

ちなみに、この牛乳というのは、会社でこういう検査とか、そういうのをしていますよね。

○学務課長 はい。お話にございましたとおり、牛乳に関しましては、まず産地のほうで放射性物質の測定を行ってございまして、暫定規制値を下回ったものだけが市場に流通している。それに加えまして、本区で納入されている牛乳の納入業者では、自主的な取り組みとして、製

品段階で放射性物質の検査も行っているところをございまして、結果を申し上げれば、いずれも現状不検出となったという状況でございます。

○委員長 遠藤委員。

○遠藤委員 今、課長さんがおっしゃったようなことをどういう形で家庭に周知徹底をされているのでしょうか。

○委員長 学務課長。

○学務課長 1点は、「給食だより」等を利用してご案内をさせていただいているのと、もう一つは、ホームページのトップページに「葛飾区の給食の対応について」というのを設けさせていただきまして、そちらにすべて記載させていただいているところでございます。

○委員長 いいですか。

秋本委員。

○秋本委員 ついでというとなれなのですけれども。

子どもたちから聞いたのですが、牛乳が赤から青に変わったと。それは何か関係あるのですか。

○委員長 学務課長。

○学務課長 2学期から牛乳のパッケージは変わりましたが、牛乳そのものは変わってございません。お話のとおり、赤い色から青い色のベースのものに変わったのですが、もともと予定されていたことだそうございまして、特別中身が変わったというわけではございません。

○秋本委員 そうでしたか。済みません。

○委員長 ほかにございませんか。

遠藤委員。

○遠藤委員 もう一つ。

先ほどのご説明では、牛乳を飲まない子が133名いるということは、せっかく今、課長さんがおっしゃったような、製造元からきちんとした検査をしているにもかかわらず、133の保護者、家庭だと思いますが、いるということは、この説明、あるいは周知徹底にもう一つ工夫というか、そういうものが必要なのではないかというふうに思うのですが、その辺はどうなのでしょう。

○委員長 学務課長。

○学務課長 先ほど申し上げましたホームページの掲載につきましては、この2学期から開始させていただいたところでございます。調査をしたのが8月30日でございますので、そういう意味では、もしかしたらまだ十分伝わっていなかったのかなという面があるかと思えます。今回また改めて区のほうで調査、検査をいたしますので、その結果が出た際にはきちんと保護者の方に何がしかの形で情報が伝わるような格好で周知をしてまいりたいと思えます。

○委員長 遠藤委員。

○遠藤委員 もう一ついいですか。

私が現職のときは、学校で給食指導というのをするのですが、先生方のほうから給食指導という形で児童・生徒に対して指導をしているのかどうかということですね。あるいは、給食主事もいらっしゃると思いますが、場合によっては給食主事のほうから指導を、あるいは学習という面で、まずは児童・生徒に対して、「この牛乳というはこういうことできちんと検査をしているから大丈夫なんだ」という趣旨のことを学習という形でやっていくことがまず必要なのではないかと思います、その辺のことはどうなのでしょう。

○委員長 指導室長。

○指導室長 基本的に給食に出されているものについては安全であるということについては、いわゆる給食指導を通して子どもたちに伝えているというふうに考えています。ただ、学校長から上がる、そういう保護者からのお声を聞いていますと、どういう説明をしても納得いただけないという保護者の方が少なからずいらっしゃるというふうに思っています。また、岩井のときもそう感じましたけれども、お一人の非常に過敏なというか、言い方は失礼かもしれませんが、そういう保護者の反応に引きずられるように「うちも」というような形で岩井に行かなかったというのが……。学校によってはクラスの7名も岩井に行かなかったというような実態もあります。風評被害については失礼かもしれませんが、そういう理解をどこまで学校の現場で求めていくかというのは、今回の問題は非常に難しく、指導室としても、安全をいかに伝えて安心していただくかということについてはもっと学校と一緒に考えていかなければいけないかなというふうに思っています。ただ、実際に子どもだけアメリカに引っ越させてしまったという保護者の方もいらっしゃいますし、さまざまな保護者のお考えがあるということも現実として学校は直面しているという実感がございます。

○遠藤委員 わかりました。

○委員長 ほかにございませんか。よろしいですか。

(発言する者なし)

○委員長 これは了承でよろしいですね。

(「はい」の声あり)

○委員長 ほかにございませんか。

(発言する者なし)

なければ、「その他」に入ります。

庶務課長、一括してお願いいたします。

○庶務課長 それでは「その他」の1、「資料配付」でございます。

まず1点目、「葛飾区子ども読書活動推進計画（第二次）」をお配りしてございます。また、

「プラネタリウム番組のご案内」ということで第81号をお配りいたしました。

「出席依頼」につきましては、今回3件でございます。まず11月7日月曜日の午後1時からございます中学校連合音楽会の第1日目。これにつきましては遠藤委員をお願いいたします。同じく、11月7日月曜日、午後4時30分から、読書感想文コンクール表彰式。これにつきましては面田委員をお願いいたします。次の11月8日火曜日でございます。1時から、中学校連合音楽会の2日目。これにつきましては松本委員をお願いいたします。

次に、次回の教育委員会でございます。10月24日月曜日、午前10時から教育委員会室でございます。よろしくをお願いいたします。

以上でございます。

○委員長 ありがとうございます。

ほかにはないですね。

それでは、これをもちまして第10回定例会を終了といたします。どうもありがとうございました。

閉会時刻 10時35分